

令和4年度事業報告

1 教育支援事業（母校、地域、在学生への支援）

(1) 鳳陽会寄附講座の開講（経済学部特殊講義Ⅰ）

山口大学後期日程の毎週金曜日（令和4年10月28日（金）～令和5年2月17日（金））に計14回開講。担当講師は鳳陽会会員計7人。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からZoomを使用したリモートによる開講。

(2) 経済学部との連携による経済学部生の就職活動に対する支援

① 就職アドバイザー（鳳陽会会員）3人による学生の就職相談への対応

毎週、火曜日、木曜日及び金曜日の週3回、13:30～15:30の2時間、経済学部就職相談室で就職相談を実施。

② 模擬面接の実施（2月27日（月）～3月9日（木）の間で計4回実施）

企業の人事担当者及び就職アドバイザーが面接官になり、学生との集団模擬面接を実施。参加企業は、（株）山口フィナンシャルグループ、（株）ファーストリテイリング、山口日産自動車（株）、及びUBEマシナリー（株）の4社。

(3) 経済学部職業会計人コースに対する支援及び助成

① 職業会計人を目指す職業会計人コースの経済学部生15人に対し、柳上奨学金（給付型奨学金）計4,000千円を給付。

② 公認会計士試験合格者2人の表彰、副賞の助成

(4) 経済学部における国際交流及びグローバル人材育成に対する支援及び助成

留学生の参加を得て実施する実践英会話講座開講に要する経費の一部を支援。なお、短期海外語学留学参加学生に対する支援は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、短期海外語学留学が中止となったため、未実施。

(5) 経済学部の学年別・学科別成績優秀者の表彰、副賞の助成。上田鳳陽賞の授与、副賞の助成。

2 交流事業

(1) 経済学部卒業生への記念品等の配付

卒業時、卒業生（新会員）に鳳陽会紹介リーフレット「花なき山の・・・」及び記念品（鳳陽会ロゴ入りシャープペンシル）、会報「鳳陽」等を封筒に入れて配付。卒業生に対して、鳳陽会各支部活動への参加、卒業後の住所の連絡、会費の納入を要請。

(2) 山口大学同窓会（各学部同窓会の連合同窓会）活動の支援・参加

山口大学同窓会において、新入生を対象とした「ワンコイン朝食」実施に対する支援、大学祭（姫山祭、常盤祭、小串祭）、新入生歓迎フェスティバル、七夕祭等の学生企画の活動に対する支援、第10回山口大学ホームカミングデーの山口大学との共催、会員向け情報発信強化のための山口大学同窓会ホームページの改修、ヤマミィカードの作成・配付などの取組を展開。

(3) その他、従前は次のような各種交流事業を実施してきたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いたため、中止を余儀なくされた。

- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、霜仁会（医学部同窓会）、常盤工業会（工学部同窓会）等山口大学他学部同窓会の総会へ参加できなかった。
- ・ 会員と学生との積極的交流

- ・ 経済学部学生ゼミナール連合協議会主催の「卒業祝賀パーティー」が、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止となった。

3 同窓会関係事業

- (1) 第92回通常総会（全国総会）を次のとおり開催した。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実際の対面での出席は役員等に限定し、ほとんどの会員は書面により議決権を行使した。
 - ・ 日 時 令和4年6月11日（土） 12：58～14：10
 - ・ 場 所 山口市亀山町3-1 鳳陽館会議室
 - ・ 出席者 426名（正会員総数1,425人）
- (2) 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じた上で、山口、東京、京滋、山口県庁、岡山、福岡、神戸等の各支部で支部総会が開催された。
- (3) 鳳陽会の厳しい財政状況の改善方策の一つとして、賛助会費を納めた会員も含め、会員の誰からも寄付金を受け入れることができる新たな払込取扱票を作成し、会報「鳳陽」第175号（令和4年5月15日付）の送付に合わせて、会員に届けた。
- (4) 会員の動静管理や鳳陽会関係資料の充実
各支部との連携の下、会員の動静把握・情報整理に努めるとともに、各支部・会員へ迅速・正確なデータの提供、鳳陽会関係資料の一層の充実に努めた。

4 会報発行事業

- (1) 会報「鳳陽」の編集、発行及び送付・配付を年3回実施した。
 - ・ 第175号（令和4年5月発行）
従来どおり、海外会員を含む全会員（住所・実家判明者：12,729名）へ送付
 - ・ 第176号（令和4年9月発行）及び第177号（令和5年1月発行）
鳳陽会の厳しい財政状況を踏まえ、正会員（年会費納入会員及び賛助会費納入会員）及び最近の卒業生2,283名（第176号）、2,345名（第177号）のみに送付。
 - ・ その他、経済学部の教官（現・旧）、経済学部生及び新入生保護者や、山口大学学長、副学長や関係部課（総務部、広報課等）、他学部同窓会及び他大学同窓会等へ送付。

5 本年度の重点施策（再掲）

鳳陽会の組織運営体制を強化し、鳳陽会の同窓会活動の活性化を図り、次の世代に同窓会活動を繋いでいくために、アンケート結果に基づく具体策として、次の施策を展開した。

- (1) 組織運営体制の強化
各支部との連携の下、支部の会員名簿を整理し、会員の動静把握に努める等、鳳陽会の組織運営体制の強化に努めた。
- (2) 鳳陽会活動の活性化
鳳陽会の新しいホームページを令和2年12月から運用開始した。令和4年5月には、会員の誰からも寄付金を受け入れることができる新たな払込取扱票を作成、配付するなど、「アンケート結果に基づく具体策への取組」に掲げた各具体策への取組を進めた。

令和4年度 正味財産増減計算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	2,802,950	2,042,171	760,779
受取入金	6,400,000	6,180,000	220,000
受取会費	3,410,000	2,857,000	553,000
受取寄付金	772,260	50,000	722,260
受取広告料	300,000	380,000	△ 80,000
受取利息	163,195	63,666	99,529
雑収入・その他	4,604,200	4,301,600	302,600
経常収益計	18,452,605	15,874,437	2,578,168
(2) 経常費用			
① 事業費	14,198,233	13,081,505	1,116,728
給料手当	3,289,770	3,289,770	0
福利厚生費	502,600	515,660	△ 13,060
教育援助費	5,802,850	4,873,080	929,770
情報交流費	657,250	886,620	△ 229,370
減価償却費	493,574	493,574	0
通信運搬費	1,363,991	1,378,385	△ 14,394
消耗品費	30,740	36,888	△ 6,148
「鳳陽」刊行費	1,444,813	1,163,226	281,587
同窓会事業費	394,553	226,060	168,493
光熱水料費	218,092	218,242	△ 150
② 管理費	5,117,676	4,214,741	902,935
給料手当	1,426,230	1,426,230	0
福利厚生費	215,400	220,998	△ 5,598
会議費	14,210	45,420	△ 31,210
旅費交通費	706,246	299,500	406,746
通信運搬費	453,605	463,442	△ 9,837
減価償却費	211,530	211,530	0
消耗品費	68,263	72,887	△ 4,624
消耗品什器備品費	100,422	72,228	28,194
修繕費	0	0	0
光熱水料費	93,467	93,533	△ 66
賃借料	724,851	688,235	36,616
租税公課	731,056	279,300	451,756
雑費	372,396	341,438	30,958
経常費用計	19,315,909	17,296,246	2,019,663
当期経常増減額	△ 863,304	△ 1,421,809	558,505
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職給付引当金戻入	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 863,304	△ 1,421,809	558,505
一般正味財産期首残高	44,966,679	46,388,488	△ 1,421,809
一般正味財産期末残高	44,103,375	44,966,679	△ 863,304
(うち特定資産への充当額)	41,807,225	41,102,121	705,104
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減高	△ 4,600,000	△ 4,300,000	△ 300,000
指定正味財産期首残高	158,900,000	163,200,000	△ 4,300,000
指定正味財産期末残高	154,300,000	158,900,000	△ 4,600,000
(うち特定資産への充当額)	120,300,000	120,300,000	0
III 正味財産期末残高	198,403,375	203,866,679	△ 5,463,304

注) 上記正味財産増減計算書は、平成20年会計基準で作成

令和4年度貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度末	前年度末	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	36,044,313	41,654,365	△ 5,610,052
未収金	0	0	
流動資産合計	36,044,313	41,654,365	△ 5,610,052
2 固定資産			
(1) 特定資産			
前受入会金引当資産	30,140,000	30,060,000	80,000
記念基金引当資産	117,500,000	117,500,000	0
建設基金引当資産	1,800,000	1,800,000	0
教育研究積立金引当資産	2,000,000	2,000,000	0
減価償却引当資産	40,807,225	40,102,121	705,104
特定資産合計	192,247,225	191,462,121	785,104
(2) その他の固定資産			
建 物	5,206,928	5,875,859	△ 668,931
建物付属設備	1	1	0
構 築 物	151,537	168,169	△ 16,632
什 器 備 品	444,397	463,938	△ 19,541
出 資 金	30,000	30,000	0
投資有価証券		0	0
その他の固定資産合計	5,832,863	6,537,967	△ 705,104
固定資産計	198,080,088	198,000,088	80,000
資産合計	234,124,401	239,654,453	△ 5,530,052
II 負債の部			
1 流動負債			
預 り 金	3,720	10,020	△ 6,300
未 払 金	77,306	77,754	△ 448
前 受 金	5,500,000	5,640,000	△ 140,000
流動負債合計	5,581,026	5,727,774	△ 146,748
2 固定負債			
前受入会金	30,140,000	30,060,000	80,000
退職給付引当金			0
固定負債合計	30,140,000	30,060,000	80,000
負債合計	35,721,026	35,787,774	△ 66,748
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	154,300,000	158,900,000	△ 4,600,000
(うち特定資産への充当額)	120,300,000	120,300,000	0
2 一般正味財産	44,103,375	44,966,679	△ 863,304
(うち特定資産への充当額)	41,807,225	41,102,121	705,104
正味財産合計	198,403,375	203,866,679	△ 5,463,304
負債及び正味財産合計	234,124,401	239,654,453	△ 5,530,052

註) 上記貸借対照表は、平成20年会計基準で作成